

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和6年6月10日(2024.6.10)

【公開番号】特開2023-32613(P2023-32613A)

【公開日】令和5年3月9日(2023.3.9)

【年通号数】公開公報(特許)2023-045

【出願番号】特願2021-138853(P2021-138853)

【国際特許分類】

G 10 G 3/04 (2006.01)

10

G 10 H 1/00 (2006.01)

G 09 B 15/00 (2006.01)

【F I】

G 10 G 3/04

G 10 H 1/00 102Z

G 09 B 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月31日(2024.5.31)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータに、

複数部分からなる1つの楽曲を対象とした演奏者の演奏を前記部分毎に評価することと、
前記1つの楽曲を対象として複数回の演奏が行われた場合に、前記複数回の演奏それぞれ
に対する前記部分毎の評価結果を、比較可能な態様で、表示手段に表示させることと、

30

を実行させる、プログラム。

【請求項2】

前記コンピュータに、

同じ楽曲を対象とした前記複数回の評価の結果のうち、定められた期間ごとに最も新
しい前記評価の結果を前記表示手段に表示させること

を実行させる、請求項1に記載のプログラム。

【請求項3】

前記コンピュータに、

前記定められた期間ごとの前記評価の結果を、1つの譜面上にまとめて、前記表示手段
に表示させること

40

を実行させる、請求項2に記載のプログラム。

【請求項4】

前記コンピュータに、

前記評価の結果と関連付けられた演奏の録音データを記憶手段に記憶することと、
ユーザーの操作に基づいて指定された前記録音データを発音手段に再生させることと、
を実行させる、請求項1乃至請求項3の何れか一項に記載のプログラム。

【請求項5】

前記コンピュータに、

前記1つの楽曲を対象として複数回の演奏が行われた場合に、前記複数回の演奏それぞれ
に対する前記部分毎の評価結果を、1つの画面上で同時に比較可能な態様で、表示手段に

50

表示させること、

を実行させる、請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 6】

複数部分からなる 1 つの楽曲を対象とした演奏者の演奏を前記部分毎に評価することと、前記 1 つの楽曲を対象として複数回の演奏が行われた場合に、前記複数回の演奏それぞれに対する前記部分毎の評価結果を、比較可能な態様で、表示手段に表示させることと、を備える、方法。

【請求項 7】

複数部分からなる 1 つの楽曲を対象とした演奏者の演奏を前記部分毎に評価する評価手段と、

10

前記 1 つの楽曲を対象として複数回の演奏が行われた場合に、前記複数回の演奏それぞれに対する前記部分毎の評価結果を、比較可能な態様で、表示手段に表示させる表示制御手段と、

を備える、端末装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

20

本発明の一実施形態であるプログラムは、コンピュータに、複数部分からなる 1 つの楽曲を対象とした演奏者の演奏を前記部分毎に評価することと、前記 1 つの楽曲を対象として複数回の演奏が行われた場合に、前記複数回の演奏それぞれに対する前記部分毎の評価結果を、比較可能な態様で、表示手段に表示させることと、を実行させる。

30

40

50